

平成27年 栃木県内における死亡労働災害発生状況

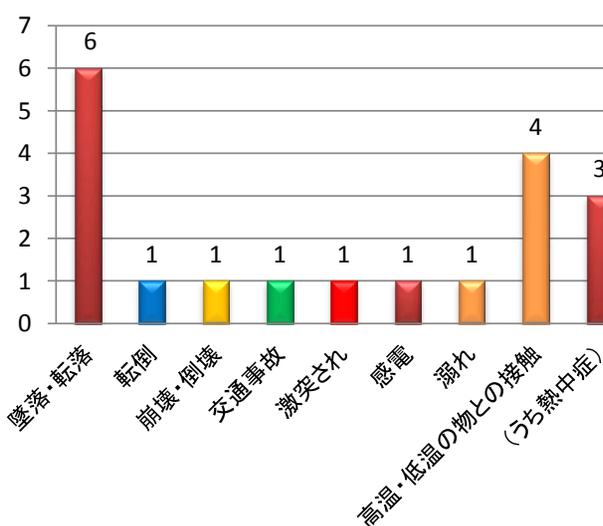
平成27年確定

栃木労働局

番号	発生年月	事故の型	業種	災害の概要
	時間帯	起因物	事業場規模	
1	平成27年1月	高温・低温の物との接触	食料品製造業	被災者と同僚1名は、食材選別室内で殺菌熱槽（湯温90℃）脇の壁と換気扇の清掃を終え、被災者は、同室に残った。その後大声が聞こえ、同僚が同室に戻ったところ、冷水を浴びていた被災者を発見したもの。これらの状況から、被災者は熱槽の上縁に足を掛け、床上1.25mの位置にあったフォークリフトの爪に移ろうとしたさい、当該熱槽に転落したものと推定される。
	15～16時	その他装置・設備	200～300名	
2	平成27年1月	感電	建設業 (電気通信工事業)	班長である被災者は、作業員と共に民家敷地内の不要な電柱の撤去作業を行っていた。この時、被災者が吊り上げ荷重2.64tの積載型トラッククレーンを用いて、高さ約8mの電柱を引き抜いた後、作業員が電柱の下部を支えながら、クレーンの脇に当該電柱を移動させていたところ、地上からの高さ8.4mの特別高圧線（66,000v）に、吊り上げていた電柱の先端が接触したため、2名とも感電したもの。その後、入院先で班長が死亡した。
	10～11時	送配電線等	10～49名	
3	平成27年1月	崩壊・倒壊	林業 (木材伐出業)	檜の皆伐現場において、伐木作業中（被災者は檜（直径26cm）に追い口を切ろうとしていたものと推定される）、被災者の後方に立っていた栗の木（直径13cm、高さ12.57m）が何らかの理由で倒れ、被災者の首に栗の木が乗った状態で、うつぶせで倒れているのを、同僚に発見されたもの。
	8～9時	立木等	10～49名	
4	平成27年2月	交通事故	商業 (新聞販売業)	被災者は、50ccバイクで新聞配達業務中、市道交差点にて赤信号のため、信号待ちをしていたところ、後方から走行してきた乗用車に追突されたもの。乗用車はそのまま逃走したものの、後に警察に逮捕された。（事故当時、乗用車の運転者は、基準値を上回るアルコールが検出されていた）
	2～3時	乗用車・バイク	10～49名	
5	平成27年2月	墜落・転落	林業 (木材伐出業)	間伐作業現場において、被災者を含め2名で作業を行っていた。2名は数百メートル離れた現場で各々作業を行い、予め定めていた集合場所に15時50分に集合する予定であった。しかし、被災者は集合時間を過ぎても現れないので、同僚が被災者の担当現場へ行ったところ、うつぶせに倒れている被災者を発見したもの。被災者が倒れていた場所から約17m上方の傾斜約40度の山腹に、被災者のヘルメット、チェーンソー、腰袋が置かれていた。
	13～14時	地山・岩石	10～49名	
6	平成27年4月	墜落・転落	建設業 (木造家屋建築工事業)	平屋建て木造家屋建築工事現場において、被災者が屋根部分の垂木を取り付ける作業のため、高さ5.37mの棟木に上り作業を行っていたところ、バランスを崩しコンクリートの土間に墜落したもの。 なお、災害発生当時、作業床の設置、ヘルメットの着用および安全帯の着用は行われていなかった。
	13～14時	屋根、はり、けた等	1～10名	
7	平成27年5月	墜落・転落	その他の製造業 (クリーニング業)	昼休み時間に、工場建屋2階で休憩していた時、何らかの理由でエレベーターの昇降路から転落し1階に止まっていた搬器の床上で発見され、病院に搬送されたものの多発外傷による出血のため死亡した。昇降路2階の扉は開いた状態となっていた。
	12～13時	開口部	10～20名	
8	平成27年6月	高温・低温のものとの接触	清掃業 (派遣業)	派遣先事業場において粉碎機械にプラスチック片を投入する作業に従事中、突然床に倒れこんだため救急搬送された。搬送先の病院で熱中症の診断が出された。
	13～14時	高温・低温環境	300～400名	

9	平成27年7月	激突され	建設業 (その他の土木工事業)	庭に置いた庭石(重量130kg、90×70厚さ17cm)の位置を変更するため、小型移動式クレーン(吊上げ荷重0.995t)を使用して庭石を吊上げたところ横転し、近くで作業を見ていた被災者の頭・背中にクレーンのジブの先端が激突したもの。(アウトリガー張出しなし。)
	9~10時	移動式クレーン	1名	
10	平成27年7月	高温・低温の物との接触	警備業	当日の就業場所であった建設現場にて交通誘導警備業務に従事していたが、立哨場所から5メートル離れた場所で倒れているところを、他の作業員に発見され救急搬送された。搬送先の病院で熱中症と診断され、集中治療室にて治療を受けていたが死亡した。
	15~16時	高温・低温環境	50~99名	
11	平成27年9月	高温・低温の物との接触	建設業 (木造家屋建築工事業)	事務所の新築工事現場において、被災者は外構工事とコンクリートブロックの仮置き作業を行っていたところ、急にふらふらし、意味不明な言動を始めたため日陰で休ませたが、その後応答しなくなったため救急にて病院に搬送された。搬送先の病院で熱中症と診断され、治療を続けていたが、翌日死亡した。
	14~15時	高温・低温環境	1~9名	
12	平成27年9月	墜落・転落	陸上貨物運送事業	荷主先で、3.5tトラックに積まれたビニールで包装された荷の上に上り、荷締機で荷締作業を行っていたところ、何らかの原因により約2m下のコンクリート地面に墜落し、頭部を強打した。(目撃者なし) 当時は降雨であった。ヘルメット着用、安全帯の使用なし。
	14~15時	トラック	10~20名	
13	平成27年9月	おぼれ	社会福祉施設	豪雨により敷地内駐車場に水があふれたため、排水溝のごみを取り除く作業中、排水管に足を吸い込まれ水中で溺れる状態となった。その後、レスキューにて救出され病院に搬送されたが、翌日死亡した。また、助けに行った者も負傷したが軽傷であった。
	10~11時	水	70~80名	
14	平成27年9月	墜落・転落	その他の事業 (測量・設計業)	道路新設工事に伴う山岳地の用地調査のため2名で山中にて作業を行い、作業終了後、山頂に置いた荷物を取りに斜面を登っている途中被災者の姿が見えなくなり、約5.5m下の山の中腹に倒れているところを発見された。何らかの原因で斜面を転落したものと推測される。
	15~16時	地山・岩石	1~5名	
15	平成27年10月	転倒	化学工業	フォークリフト(最大荷重1.4t)を運転中、何らかの原因で横転し、車体と地面との間に頭部を挟まれ被災したものの。当時、フォークリフトの作業装置は、地上より約3mの高さにあり、荷は積載されていなかった。
	1~2時	フォークリフト	150~200名	
16	平成27年11月	墜落・転落	建設業 (木造家屋建築工事業)	木造2時階建て家屋建築現場にて、二階床のベニヤ板張り作業中、後ろにあった開口部から約3m下の一階土間コンクリートに頭部を強打し被災した。墜落防止措置なし、安全帯使用なし
	11~12時	開口部	1~5名	

事故の型



業種

